

事業系一般廃棄物（ごみ）に関するアンケート 結果について

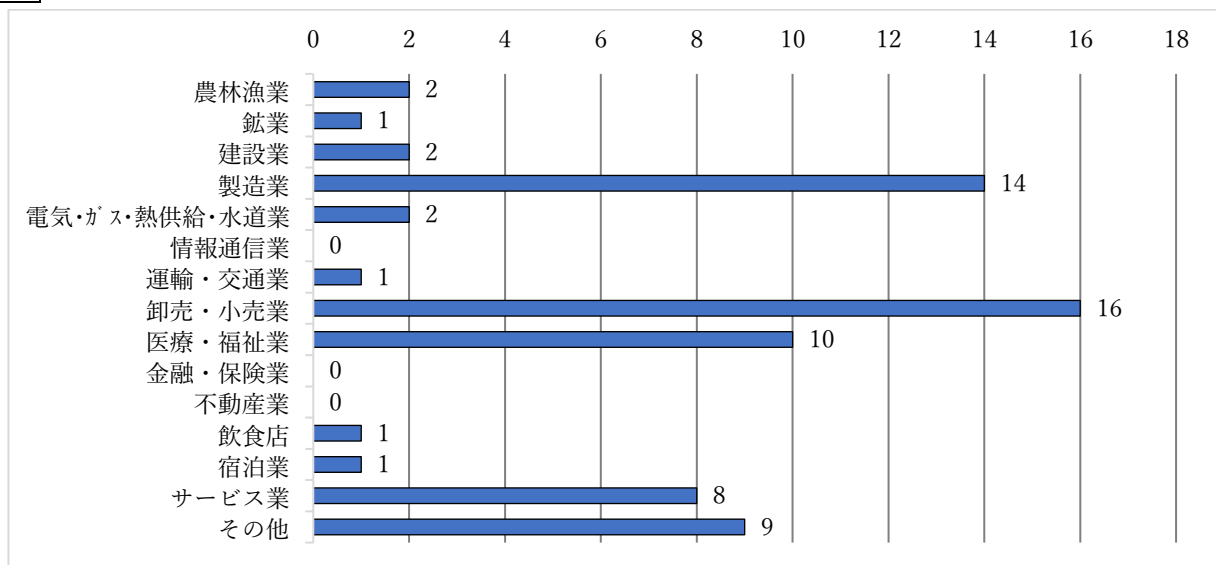
1 概要

新発田市・胎内市で排出される一般廃棄物（ごみ）について、更なるごみ減量やリサイクルの推進を目指し、新発田市・胎内市・組合で行うべき対策や支援等を検討するため、ごみ排出量の多い事業所を対象にアンケートを実施し、事業所におけるごみ処理の現状や課題について調査したもの。

- (1) 実施者：新発田市、胎内市、新発田地域広域事務組合
- (2) 調査日：令和3年3月上旬から令和3年3月31日まで
- (3) 調査対象：新発田市及び胎内市内の事業所88社（うち回答68社）

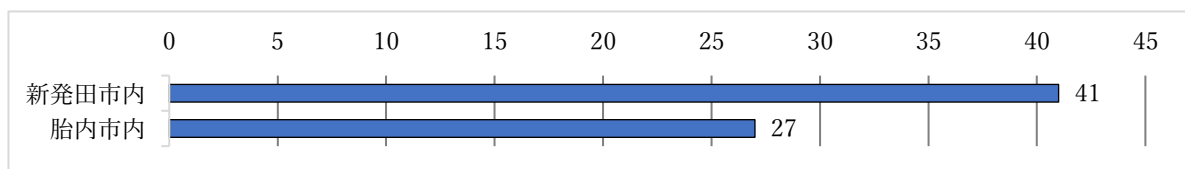
2 集計結果

問1 貴事業所の業種を選んでください。（グラフは事業所数を指す）



※1社未回答

問2 貴事業所の所在地を選んでください。（グラフは事業所数を指す）



問3 事業活動に伴って排出されるごみは、事業系一般廃棄物と産業廃棄物に分けられ、排出事業者が自ら適正に処理する責任があります。このことをご存じでしょうか。

【回答】

- 知っている・・・95%
- 知らない・・・5%

問4 貴事業所ではごみ排出量を把握していますか。また、把握している方は、どの単位で把握していますか。

【回答】

- 把握している（年単位）・・・ 7%
- 把握している（月単位）・・・ 36%
- 把握している（その他）・・・ 6%
- 把握していない・・・ 51%

問5 貴事業所ではごみの減量、分別、リサイクル等に取り組んでいますか。

【回答】

- 積極的に取り組んでいる・・・ 42%
- まあまあ取り組んでいる・・・ 52%
- あまり取り組んでいない・・・ 6%
- どちらともいえない・・・ 0%

問6 問5で「あまり取り組んでいない」「どちらともいえない」と回答された方へ質問です。その理由としてあてはまるものをすべて選んでください。

【回答】

- ごみの量が少ない、捨てる際にごみが混ざる等、分別が難しい・・・ 40%
- 手間がかかるため・・・ 0%
- 費用がかかるため・・・ 20%
- 分別した後の資源ごみの依頼先や処分先が分からない・・・ 40%
- ごみの減量、リサイクルについて意識していなかった・・・ 0%
- その他・・・ 0%

問7 ごみの減量・資源化に取り組めない理由や、取り組む上で困っていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

【回答】

- 手間がかかる 27%
- 保管場所が狭い、分別して置く余裕が無い等、場所の制約がある . . . 24%
- 費用がかかる 19%
- リサイクル業者が分からない 4%
- 取り組むメリットが無いように感じる 0%
- 特にない 22%
- その他 4%

→その他に回答した事業所の意見

- ・資源ごみの分別に係る意識啓発の取り組みが希薄（医療・福祉業）
- ・紙、段ボールが大半。シュレッターの消耗。（サービス業）
- ・リサイクルで出せるゴミの種類が少なく、一般の可燃、不燃として出すしかない。（官公庁）

問8 ごみの減量・資源化を一層推進するために必要、もしくは活用したいと思う施策等がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

【回答】

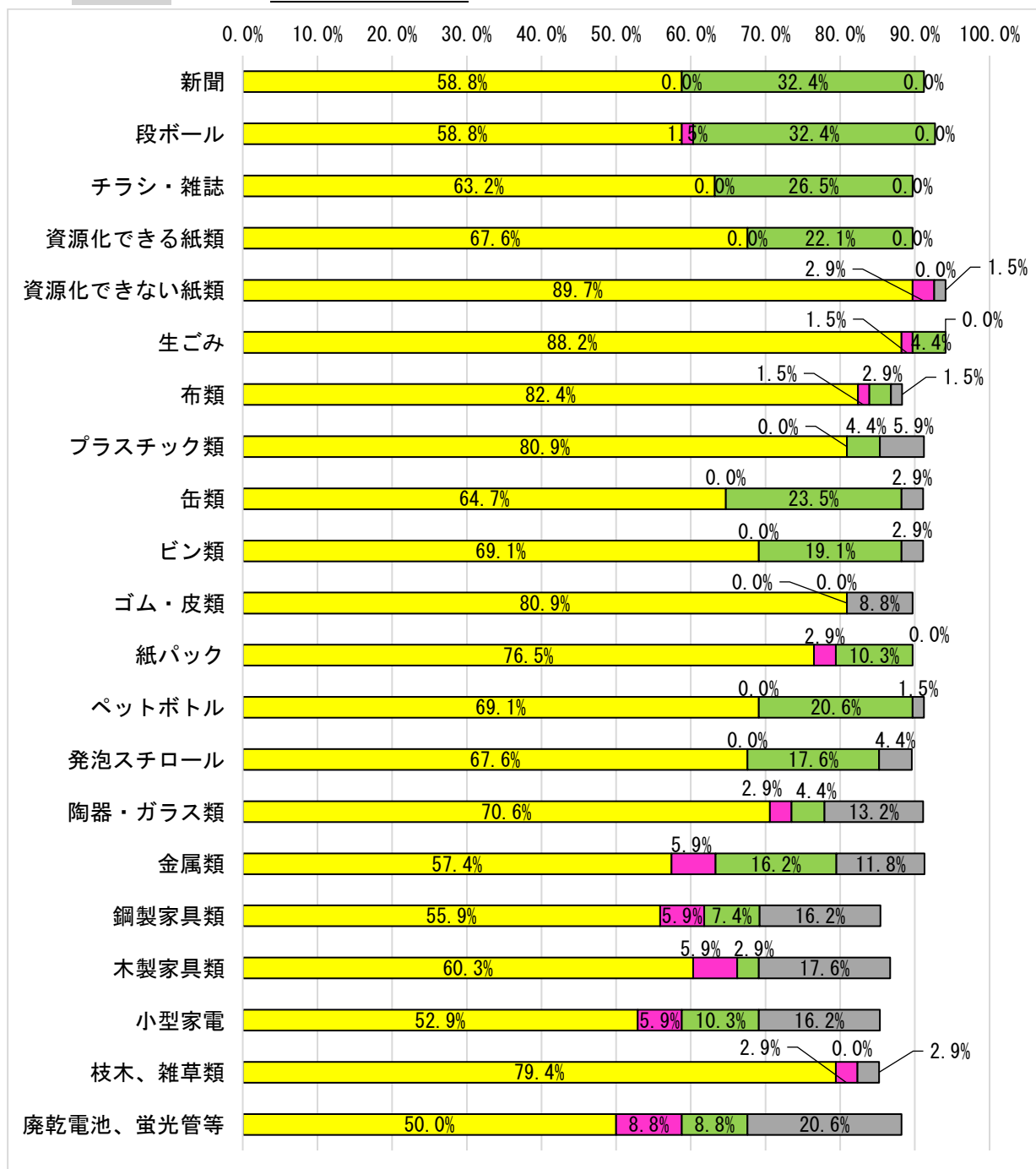
- 事業系ごみの減量・資源化に関する情報やマニュアルの提供 . . . 37%
- 収集運搬業者、リサイクル業者に関する情報提供 23%
- 事業者が自社で資源ごみを持ち込みできる回収拠点の整備 11%
- 事業者に対する減量指導の実施 9%
- リサイクルに積極的に取り組む事業者の紹介や表彰制度 8%
- ごみ問題や地球環境問題に関する講演会の実施 7%
- 地域の事業者同士が共同で資源回収を行う連携組織の育成 1%
- その他 4%

→その他に回答した事業所の意見

- ・具体的に事業所でどのような仕組みで行うのがベストかその実施例やルール（医療・福祉業）
- ・経費削減のため日々行っている（宿泊業）
- ・資源ごみ買取りを進める（卸売・小売業）
- ・資源化できない機密書類の焼却場への自己搬入を認める（電気・ガス・熱供給・水道業）

問9 貴事業所でのごみの処分方法について、以下の表により回答してください。また、排出量が特に多いごみを1つ記入してください。

- ① 収集業者に委託・・・ごみとして一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託し処分している場合。
- ② 直接搬入・・・ごみとして自らごみ処理場等に搬入して処分している場合。
- ③ 資源化・・・資源物として委託 or 工場等への搬入により処分している場合。
- ④ 産廃処理・・・産業廃棄物として処理している場合。



※一部未回答があり、100%に達していない。

■排出量が特に多いごみについて（回答より抜粋）

- ・紙類（資源化できるもの、資源化できないもの）
- ・段ボール
- ・生ごみ
- ・可燃ごみ（紙やプラスチック類）
- ・紙おむつ（福祉施設）

問 10 近年、「プラスチックごみ」による海洋・環境汚染が問題視されています。このことから、環境省では、家庭ごみの分別区分で「プラスチック資源」の新設や、事業者による自主回収の拡大等を図り、プラスチックごみの減量・資源化の一層の推進を検討していると新聞報道されました。このことをご存じでしょうか。

【回答】

- 知っている・・・92%
- 知らない・・・8%

問 11 意見、質問等がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・広域事務組合の主導で新発田広域がエコで一番の地域といわれるよう、積極的に取り組んでほしい。
- ・院内全体で創意工夫によりごみの減量・資源化に一層取り組み、環境保全に努めたいと思います。
- ・障害者施設（のぞみの家福祉会スクラム）様に使用済小型家電（個人所有及び法人所有）を回収していただいている（レアメタル回収）。収集業者に処理をしていただくより、法人として費用も発生せず、なにより障害者の方も笑顔で楽しそうに作業されているので非常に良いと思います。
- ・ペットボトルを可燃ごみとして処理しているが、資源化できるようにしたい。回収可能業者を広報などで知らせてほしい。
- ・リサイクル率向上に向け積極的に資源化に取り組んでいるが、コストや手間の面から、現状からなかなかリサイクル率が上がらないため、画期的なアイデア等の情報があれば教えてほしい。雑草や落ち葉の資源化、防虫・防鼠についての情報を費用面も含めて教えてほしいです。